

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立石神井高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(総務主任兼務)=事務局長、総務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、進路指導主任、総務主任 学年主任 計10名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
学識経験者（練馬区教育委員会社会教育主事）、同窓会副会長、PTA会長、PTA顧問、学校医、近隣中学校長、消防署長、地域消防団団長、社会福祉士、 計9名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月23日（木）内部委員8名、協議委員9名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換

第2回 令和4年11月17日（木）内部委員7名、協議委員8名

学校評価アンケート結果、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、意見交換

第3回 令和5年2月16日（木）内部委員8名、協議委員6名

学校評価分析及び提言、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、意見交換

- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月23日（木）内部委員1名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討

第2回 令和4年11月17日（木）内部委員1名、協議委員2名

今年度の学校評価の観点・項目、内容、結果の確認、分析方法についての確認

第3回 令和5年2月16日（木）内部委員1名、協議委員1名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討
来年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|
| ・9月 全校生徒 | 736人／832人 | 回収率：88.5% | 前年度より | 9.8ポイント減 |
| ・9月 保護者全員 | 302人／832人 | 回収率：36.3% | 前年度より | 40.9ポイント減 |
| ・9月 教職員 | 33人／44人 | 回収率：75.0% | 前年度より | 16.7ポイント減 |

- (3) 評価項目

学校生活、学習指導／PTA、生活指導、進路指導、特別活動、健康・安全、施設・設備、教育、組織、事務関係、自主学习、ライフ・ワーク・バランスの推進に分類し、27の評価項目を設定。

- (4) 評価結果の概要

評価アンケートの回答選択肢において、「あてはまる」と「ややあてはまる」を肯定的な回答、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を否定的な回答として結果を検討した。

令和4年度学校評価アンケート(今年度学年別集計)			回答数(人)					割合(%)					凡例		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	回答総数	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	肯定回答	否定回答
項目No.	対象者	質問内容													
1	生徒	私は石神井高校に入学してよかった。	373	290	60	13	-	736	51	39	8	2	-	90	10
	保護者	子供を石神井高校に入学させてよかった。	187	94	10	3	8	302	62	31	3	1	3	93	4
	教職員	生徒は石神井高校に入学してよかった。	14	14	1	4	-	33	42	42	3	12	-	85	15
2	生徒	石神井高校での生活は私の夢や希望を実現する将来にとって有益である。	197	411	107	21	-	736	27	56	15	3	-	83	17
	保護者	石神井高校での生活は子供の夢や希望を実現する将来にとって有益である。	110	137	22	2	31	302	36	45	7	1	10	82	8
	教職員	石神井高校での生活は生徒の夢や希望を実現する将来にとって有益である。	14	17	2	0	-	33	42	52	6	0	-	94	6
3	生徒	授業は教え方や教材の準備が工夫され、とてもわかりやすい。	109	453	135	39	-	736	15	62	18	5	-	76	24
	保護者	PTA活動は学校(教職員)と保護者の交流を図る上で必要である。	35	127	60	26	54	302	12	42	20	9	18	54	28
	教職員	授業は教え方や教材を工夫して分かりやすくしている。	22	11	0	0	-	33	67	33	0	0	-	100	0
4	生徒	授業では課題解決やグループワークなどの時間を設け、主体的に学ばせようとしている。	193	372	136	35	-	736	26	51	18	5	-	77	23
	保護者	PTA活動の活動内容は保護者に分かりやすく紹介されている。	79	131	52	8	32	302	26	43	17	3	11	70	20
	教職員	授業では課題解決やグループワークなどの時間を設け、主体的に学ばせようとしている。	17	14	2	0	-	33	52	42	6	0	-	94	6
5	生徒	私は家庭で予習・復習を行い、毎日の授業に臨んでいる。	90	260	257	129	-	736	12	35	35	18	-	48	52
	保護者	子供は家庭で予習・復習をしている。(家庭学習をしている。)	76	114	76	28	8	302	25	38	25	9	3	63	34
	教職員	生徒は家庭で予習・復習を行い、毎日の授業に臨んでいる。	2	15	12	4	-	33	6	45	36	12	-	52	48
6	生徒	予備校・塾に行っていますか。週に何日行っていますか。 1:行っていない 2:夏冬休みだけ行く 3:週に1日 4:週に2日以上	383	4	112	237	-	736	52	1	15	32	-	-	-
	保護者	子供は予備校・塾に行っていますか。週に何日行っていますか。 1:行っていない 2:夏冬休みだけ行く 3:週に1日 4:週に2日以上	177	3	57	65	-	302	59	1	19	22	-	-	-
	教職員	予備校・塾のもつ大学受験情報を活用している。	7	20	6	0	-	33	21	61	18	0	-	82	18
7	生徒	高校生としての基本的なマナーやルールを身に付けさせる指導が行われている。	389	281	51	15	-	736	53	38	7	2	-	91	9
	保護者	高校生としての基本的なマナーやルールを身に付けさせる指導が行われている。	113	125	11	3	50	302	37	41	4	1	17	79	5
	教職員	高校生としての基本的なマナーやルールを身に付けさせる指導を行っている。	18	15	0	0	-	33	55	45	0	0	-	100	0
8	生徒	学校はいじめ等の生活指導上の問題に対して適正に対処している。	344	321	53	18	-	736	47	44	7	2	-	90	10
	保護者	学校はいじめ等の生活指導上の問題に対して適正に対処している。	43	63	4	3	189	302	14	21	1	1	63	35	2
	教職員	学校はいじめ等の生活指導上の問題に対して適正に対処している。	23	9	1	0	-	33	70	27	3	0	-	97	3
9	生徒	学校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	294	321	89	32	-	736	40	44	12	4	-	84	16
	保護者	学校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	47	53	13	5	184	302	16	18	4	2	61	33	6
	教職員	学校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	22	10	1	0	-	33	67	30	3	0	-	97	3
10	生徒	学校は進路について必要な情報提供をしている。	411	270	42	13	-	736	56	37	6	2	-	93	7
	保護者	学校は進路について必要な情報提供をしている。	113	141	15	6	27	302	37	47	5	2	9	84	7
	教職員	学校は進路について必要な情報提供をしている。	23	10	0	0	-	33	70	30	0	0	-	100	0
11	生徒	進路指導は生徒の希望や適性を踏まえ適切に指導をしている。	306	332	76	22	-	736	42	45	10	3	-	87	13
	保護者	進路指導は生徒の希望や適性を踏まえ適切に指導をしている。	72	107	33	6	84	302	24	35	11	2	28	59	13
	教職員	進路指導は生徒の希望や適性を踏まえ適切に指導をしている。	12	15	5	1	-	33	36	45	15	3	-	82	18
12	生徒	私は、進路の希望をはっきりと持っている。	265	275	142	54	-	736	36	37	19	7	-	73	27
	保護者	子供は進路の希望をはっきりと持っている。	89	121	57	29	6	302	29	40	19	10	2	70	28
	教職員	生徒は、進路の希望をはっきりと持っている。	4	12	17	0	-	33	12	36	52	0	-	48	52
13	生徒	ホームルーム活動はクラスの雰囲気や活動に成果をあげている。	229	377	99	31	-	736	31	51	13	4	-	82	18
	保護者	子供とホームルーム(クラス)の話をすることがある。	95	107	70	29	1	302	31	35	23	10	0	67	33
	教職員	ホームルーム活動はクラスの雰囲気や活動に成果をあげている。	17	14	2	0	-	33	52	42	6	0	-	94	6
14	生徒	体育祭・文化祭は伝統行事としてよく計画され楽しく充実している。	501	188	30	17	-	736	68	26	4	2	-	94	6
	保護者	体育祭・文化祭は伝統行事としてよく計画され楽しく充実している。	188	87	13	3	11	302	62	29	4	1	4	91	5
	教職員	体育祭・文化祭は伝統行事としてよく計画され楽しく充実している。	20	12	1	0	-	33	61	36	3	0	-	97	3

- ア) 前年度より肯定的な回答が増加した項目
 - 生徒 質問24項目のうち11項目。
 - 保護者 質問24項目のうち3項目。
 - 教職員 質問24項目のうち12項目。
- イ) 前年度より肯定的な回答が5ポイント以上減少した項目
 - 生徒 質問24項目のうち2項目
 - 保護者 質問24項目のうち10項目。
 - 教職員 質問24項目のうち1項目。
- ウ) 肯定的な回答が8割以上の項目数
 - 生徒 質問24項目のうち18項目
 - 保護者 質問24項目のうち8項目
 - 教職員 質問24項目のうち20項目
- エ) 肯定的な回答が5割に満たない項目
 - 生徒 質問24項目のうち0項目
 - 保護者 質問24項目のうち4項目
 - 教職員 質問24項目のうち1項目

(5) 評価結果の分析・考察

ア) 学校生活に関する項目

- ・「私は石神井高校に入学してよかった」、「石神井高校での生活は生徒の夢や希望を実現する将来にとって有益である」については、昨年度に続き、生徒・保護者・教職員共に肯定的な回答がきわめて多い。更に向上させるよう取り組んで行く。

イ) 学習指導に関する項目

- ・「授業は教え方や教材の準備が工夫され、とても分かりやすい」については、教職員の肯定的な回答と生徒の肯定的な回答に20ポイント以上の乖離がある。授業評価アンケート等をもとに更なる授業改善が必要である。
- ・「私は家庭で予習・復習を行い、毎日の授業に臨んでいる」は、生徒・保護者・教職員共に肯定的な回答が少ない。自主学習が定着していないと生徒・教職員の約半数が考えており、本校の大きな課題となっている。

ウ) 生活指導に関する項目

- ・3項目とも生徒・教職員の肯定的な回答は極めて多い(全てにおいて9割前後)。保護者の肯定的な回答が少ないのは、今年度より「わからない」という選択肢を入れた結果、「わからない」という回答が多くなってしまったためである。本校の教育活動について、保護者等に知っていただく方法等の工夫が必要である。

エ) 進路指導に関する項目

- ・2項目については、肯定的な回答が比較的多いが、「進路希望をはっきりと持っている」という項目は、生徒・保護者・教職員共に肯定的な回答が少ない。入学当初より3年間を見据え、保護者向けの情報提供・講演会の機会をさらに充実させ早い時期から生徒の進路意識を高める必要がある。

オ) 特別活動に関する項目

- ・3項目の生徒・保護者・教員の肯定的な回答が極めて多い。保護者への評価項目として「子どもとホームルームの話をするところがある」の回答は5ポイント増加(67%)しているが、多い回答数ではないため、学校全体で教育効果が高いHR計画を考え改善を図る。
- ・「学習と部活動の両立」については、昨年と比べると生徒・保護者・教職員共に肯定的な回答が減少している。文武二道の両立にむけ、生徒が高い意識を持ち、目標に向かって地道に努力していく素晴らしさを感じる指導を工夫していく必要がある。

カ) 健康・安全に関する項目

- ・2項目とも生徒・教職員の肯定的な回答は極めて高い。保護者の回答は「わからない」が最も多く、本校の取組を保護者等に伝わるよう、情報の発信方法の工夫が必要である。

キ) 施設・設備に関する項目

- ・2項目とも生徒・保護者・教職員の肯定的な回答が多い。教育活動を実施する環境を更に整備する。

ク) 教育に関する項目

- ・2項目ともおおむね肯定的な回答を得ているが、保護者の「わからない」という回答も多い。本校の教育活動についての発信方法等を工夫していく必要がある。

ケ) 組織に関する項目

- ・「同窓会」、「PTA」の支援等について、生徒・教職員は肯定的な回答が多いが、保護者の回答は「わからない」が多い。

コ) 事務関係に関する項目

- ・「学校の経営企画室の対応は適切である」については、生徒・保護者・教職員共に肯定的な回答が多い。

サ) ライフ・ワーク・バランスについて

- ・教職員対象の「私は、忙しく、長時間労働をしている」という回答について、昨年比9ポイント増加(73%)した。業務の整理・精査、効率化を図り、対策を講じる必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校の自己評価へ反映)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・近隣住民の本校に対する期待の高さを認識できた。
- ・地域住民、関係機関等が生徒を高く評価してくださっていることが認識できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・情報の発信方法等について工夫する必要がある。
- ・真の文武二道に向かい、教育活動のさらなる充実を図る。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導、進路指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。

(2) 学習指導

- ・指導と評価の一体化をもとにした授業改善の実施。
- ・自学自習環境の整備。

(3) 特別活動

- ・3年間を見据えたHR計画の策定と実施。
- ・自己有用感を高められる学校行事、部活動の実施。

(4) 生活指導

- ・いじめや暴力を絶対に許さない環境の構築。
- ・ルール・マナーを遵守する精神の醸成。

(5) 進路指導

- ・生徒一人一人の個に応じた進路指導の実施。
- ・進路情報について保護者への提供方法の改善。

(6) 健康・安全

- ・相談体制のさらなる充実。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
7	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 職員会議・企画調整会議への参加はなし。

8 その他

- ・今年度より Forms によるアンケートを実施し回収率が大きく下がってしまったため、対策を考える必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、本校の教育活動についての情報発信の機会を増やしていく。